

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 161

江戸川区立上一色南小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	-5	-5	-10	令和8年度の目標	-5	-5	-5	-5	-7	-7	-2	0
令和7年度の結果	-9	-9	-18	令和7年度の結果	-6.3	-8	-7.3	-8.9	-2.5	-0.9	-5.1	-1.5
令和6年度の結果	-3	-5	-8	令和6年度の結果	-12.9	-10.3	-8.8	-8.8	-8.4	-10.3	-1.7	-4.5
令和5年度の結果	-11	-10	-21	令和5年度の結果								

年度	令和7年度 成果と課題			令和8年度 目標達成に向けた取組							
内容	成果と課題			目標				目標達成に向けた取組			
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決への意欲を高める授業づくりを行うことで、すすんで考えようとする児童が増えた。 ○漢字や四則計算の指導に力を入れることで、基礎的な学力を向上させることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査の結果から、算数科では、図形や分数の計算の得点率が低かった。国語科では、読むことと書くことの得点率が低かった。 			<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年が「スタンダード」に基づいた授業を実践する。 ○基礎的な四則計算ができるようになる。 ○児童が読むことや書くことに抵抗感がなくなるようにするために、本を読んだり、文章を書いたりする機会を増やす。 ○当該学年までの漢字を正しく書くことができるようになる。 				<p>目標達成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科、算数科では「江戸川スタンダード」を徹底する。また、他の教科においては、「上南スタンダード」に基づいた授業を行う。 ○毎回の算数科の導入で、整数や分数、小数での四則計算を行い、基礎的な計算ができるようになる。 ○学校図書館と連携し、図書室の本を教室前に別置き、いつでも手に取れるようにすることで、本に触れる機会を増やす。 ○漢字や語彙の指導を充実させる。また、漢字テストの平均点や8割達成者の割合を出すことで、学期ごとに成果と課題を把握しやすくする。 			
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名・カタカナ・漢字の小テストに日々取り組んだことで、語彙数を増やし、書く力を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学期末テストや平仮名、カタカナ、漢字のまとめテストにおいて、得点が5割に満たない児童が一定数いる。 ○文章問題の読解が弱い。 			<ul style="list-style-type: none"> ○語彙の定着を図る。 ○基本的な読み・書き・四則計算ができるようにする。 ○読書の時間に力を入れる。 				<ul style="list-style-type: none"> ○定着できていない語彙を活用できるようにするため、日々の宿題や小テスト、本をすすんで読ませる等行っていく。 ○個別の指導が必要な児童には、授業中、または空いている時間等を使って教えていく。宿題は必ず取り組ませる。 ○読み聞かせを行ったり、本のリストを作成し課題図書として読むよう勧めたりして、本を意欲的に読む習慣をつくる。 			
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「どめ・はね・はらい」を細かく指導したことで、漢字一文字一文字を丁寧に書くようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かけ算九九を全て暗唱できない児童が2割程度いる。 ○算数の文章題で正しく立式できない児童が一定数いる。 			<ul style="list-style-type: none"> ○語彙を増やし、文章力をあげる。 ○漢字の定着力を上げる。 ○全児童が九九を暗唱できるようにする。 				<ul style="list-style-type: none"> ○毎週末の宿題である日記において、その都度テーマを決めるようにし、様々なジャンルについて考えることで、語彙力・文章力の向上を図る。 ○教材として取り扱う小テストの他に、より細かく確認小テストを行い、漢字の確実な定着を図る。 ○九九の定着に向けて、新しく家庭との連携したカードを作成し、保護者の協力も得ながら繰り返し取り組めるようにする。 			
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語では、漢字や語彙、文章の内容を読み取る力に一定の成果が見られた。 ○算数では、基礎的な計算を正確に行える児童が多くなった。 ○問題文を最後まで読むようになる児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語では、自分の考えを文章でまとめる問題に苦手意識をもっている児童が多かった。 ○算数では、作図の問題で指示どおりに作図ができる児童が少なかった。 ○江戸川区総合学力調査の結果から、国語科では「書くこと」、算数科では「数と計算」の正答率が低かった。 			<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な学習内容の定着を図る。 ○国語科では、読み取りや表現力の向上を図る。 ○算数科では、問題の条件を捉え、考え方を説明する力の育成を目指す。 				<ul style="list-style-type: none"> ○国語科・算数科ともに、大事な言葉に線を引く、丸で囲むなどの読み取り活動を継続して行う。 ○問題文を声に出して読む、言い換える活動を取り入れ、内容理解を深める。 			
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小テスト・再テスト等を繰り返し、漢字の正答率を上げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章から適切な情報を読み取る力が低く、国語の読解や算数の文章問題を苦手としている児童が多い。 ○かけ算、わり算の基本的な計算ができない、もしくは時間がかかる児童が一定数いる。 ○江戸川区総合学力調査の結果から、国語科では「書くこと」、算数科では「数と計算」の正答率が低かった。 			<ul style="list-style-type: none"> ○かけ算、わり算の簡単な計算をできるようにする。 ○文章や図、表などから適切に情報を読み取ることができるようになる。 ○考えたことを文章や言葉で表現できるようにする。 				<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着のための演習を継続する。(算数の授業の始めや朝学習等) ○文章問題にも継続的に取り組ませる。 ○本での調べ学習等を充実させ、適切に情報に読み取り、表現できるようにする。 			
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し漢字の練習に取り組ませることで、漢字の正答率を上げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く問題に取り組むことができない、自分の考えや感想を文章にまとめることができない。 ○九九が分からない児童がいる。小数や分数の基本的な計算ができない児童が半分程度いる。 ○江戸川区総合学力調査の結果から、国語科では「読むこと」、算数科では「数と計算」の正答率が低かった。 			<ul style="list-style-type: none"> ○九九や簡単な四則計算をできるようにする。 ○読書経験を増やし、読解力を高める。 ○自分の考えや感想を文章にまとめることができるようになる。 ○当該学年までの漢字を正しく書くことができるようになる。 				<ul style="list-style-type: none"> ○算数科の授業の最初に、九九や簡単な四則計算に取り組む時間を毎時間設ける。 ○国語科や社会科、総合的な学習の時間で本を活用した授業を行う。また、教室前に本を別置きすることで、児童が様々な本を手にとることができるようになる。 ○毎週作文に取り組むことで、文章を書く経験をさせる。また、朝スピーチの際に感想を必ず伝えるようにすることで国語の力を伸ばしていく。 ○漢字小テストで満点を取ることができるようまで、繰り返しテストを行う。 			
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し漢字の練習に取り組ませることで、漢字の正答率を上げることができた。 ○算数では、基礎的な計算を正確に行える児童が多くなった。 ○江戸川区総合学力調査の結果から、算数科では、全国平均を上回ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章問題の意図を捉えることが苦手で、問題に正解した解答を導き出すことができない。 ○粘り強く問題に取り組むことや自分の考えを文章にまとめるのが弱い。 ○江戸川区総合学力調査の結果から、国語科では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の正答率が低かった。 			<ul style="list-style-type: none"> ○問題文の意図をとらえることができるようになる。 ○自分の考えや感想を文章にまとめることができるようになる。 ○基礎的な四則計算をしっかりとできるようにする。 ○当該学年までの漢字を正しく書くことができるようになる。 				<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動を増やしたり、宿題で読解問題を出したりすることで文章を読むことに対する抵抗感を減らすようにする。 ○国語に限らずどの教科でも自分の考えを文章に書く活動を取り組む。 ○漢字小テストを満点を取るまで繰り返し行う。 			